

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（1996年8月1日設定）	
運用方針	マザーファンドを通じて、NASDAQ市場に上場されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。組入銘柄につきましては、ボトムアップ・アプローチを基本として、個別銘柄のファンダメンタルを重視した銘柄選定を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	
主要運用対象	ベビーフンド	NASDAQマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	NASDAQ市場に上場されている株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合に、当期の基準価額上昇分の範囲内で分配します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

三菱UFJ
NASDAQオープン Aコース



第30期（決算日：2026年7月31日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用 フリーダイヤル	0120-151034 （受付時間：営業日の9:00～17:00、 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 金			(参 考 指 数) NASDAQ総合指数 (配 当 込 み 、 円ヘッジベース)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
		分 配	金	期 騰 落 率	期 騰 落 率	期 騰 落 率			
	円		円	%		%	%	%	百万円
26期(2022年8月1日)	10,381		0	△19.3	398.44	△15.8	93.7	—	6,499
27期(2023年7月31日)	10,980		500	10.6	442.19	11.0	98.4	—	12,458
28期(2024年7月31日)	11,753		900	15.2	502.86	13.7	93.0	—	9,614
29期(2025年7月31日)	13,322		1,400	25.3	595.14	18.3	99.5	—	9,771
30期(2026年7月31日)	13,775		500	7.2	686.73	15.4	94.1	—	8,358

- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) NASDAQ総合指数とは、NASDAQ上場全銘柄の時価総額加重平均により算出され、1971年2月5日を基準値100としています。
NASDAQ総合指数（配当込み、円ヘッジベース）は、NASDAQ総合指数をもとに、配当込み指数が入手可能な2017年12月25日以降、委託会社が計算したものです。なお、設定来から配当込み指数に切り替える前までは、配当除く指数で算出し、連続して指数化しています。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	(参 考 指 数) N A S D A Q 総 合 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	(配 当 込 み、 円ヘッジベース)	騰 落 率		
(期 首) 2025年 7 月31日	円	%		%	%	%
	13,322	—	595.14	—	99.5	—
8 月 末	13,648	2.4	609.65	2.4	96.2	—
9 月 末	14,153	6.2	632.59	6.3	95.3	—
10月 末	14,719	10.5	658.29	10.6	98.5	—
11月 末	14,356	7.8	646.55	8.6	97.6	—
12月 末	14,358	7.8	651.98	9.6	97.7	—
2026年 1 月 末	14,281	7.2	656.06	10.2	97.8	—
2 月 末	13,333	0.1	632.43	6.3	96.8	—
3 月 末	11,840	△11.1	573.52	△ 3.6	96.9	—
4 月 末	14,190	6.5	678.85	14.1	97.9	—
5 月 末	15,784	18.5	739.14	24.2	96.9	—
6 月 末	15,123	13.5	707.48	18.9	97.4	—
(期 末) 2026年 7 月31日	14,275	7.2	686.73	15.4	94.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

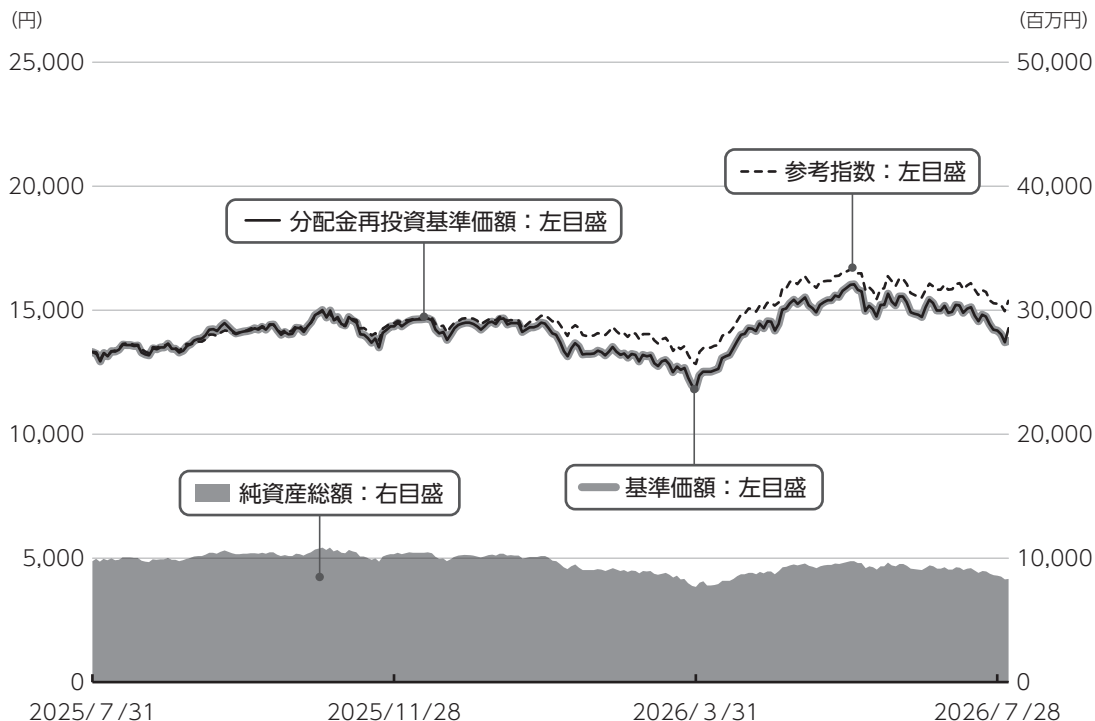
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第30期：2025年8月1日～2026年7月31日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第30期首	13,322円
第30期末	13,775円
既払分配金	500円
騰落率	7.2%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ7.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因**上昇要因**

NASDAQ株式市況全体の上昇や組入銘柄（LAM RESEARCH CORPなど）の値上がり、基準価額の上昇要因となりました。

第30期：2025年8月1日～2026年7月31日

投資環境について

▶ NASDAQ株式市況

NASDAQ株式市況は上昇しました。

期間の初めから2026年2月にかけては、2025年9月後半の連邦公開市場委員会（FOMC）で利下げが決定されたことを受け、景気が下支えされとの見方が広がったことなどから、株価は上昇しました。

2026年3月以降は、中東情勢を巡る地政学リスクが意識されたことや、人工知能

（AI）関連投資の収益性やキャッシュフローに与える影響への懸念などから、株価が一時的に下落する局面も見られました。しかし、中東情勢を織り込む動きが一服したことや企業業績が比較的良好であったことなどを背景に、株価は持ち直しました。

結果として、期間の初めからの株価は上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

NASDAQマザーファンド受益証券を通じて、NASDAQ上場株式（REIT（不動産投資信託証券）含む）に投資しました。また、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

▶ NASDAQマザーファンド

NASDAQ上場株式を主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力に着目し、長期的な成長が期待できる企業を選定し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざしました。銘柄選定にあたっては、キャッシュフロー面等からの割安感にも着目しました。

銘柄数は、期間の初め時点においては、46銘柄としていました。

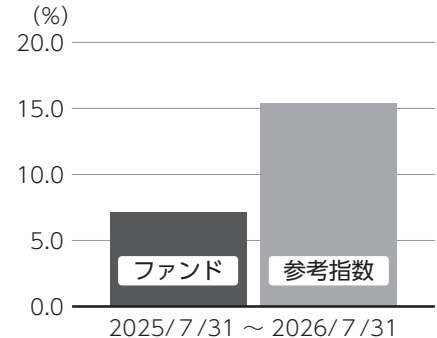
当期間においては、業績を安定的に伸ばせるか徹底的な企業調査を行うと同時に、業績成長確度の高い銘柄への投資配分を引き上げ、期間末時点の組入銘柄は、51銘柄としました。

収益拡大余地が限定的と判断した「ZSCALER INC」や、「TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A」の売却を行う一方で、航空機リース、エンジンリース、およびエンジン修理などを手がける「FTAI AVIATION LTD」や、光学・光通信製品の製造・販売を手がける「LUMENTUM HOLDINGS INC」などのより成長性が高いと判断した銘柄を新規に組み入れました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はNASDAQ総合指数（配当込み、円ヘッジベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第30期 2025年8月1日～2026年7月31日
当期分配金（対基準価額比率）	500 (3.503%)
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,993

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

NASDAQマザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減に努めます。

▶ NASDAQマザーファンド

アメリカでは、タクシーや商用車向けの完全自動運転技術を活用したサービスや、宇宙衛星関連サービスなど、多くのイノベーションが次々と生まれています。

「SPACE EXPLORATION TECHN-CL A」が上場しましたが、今後も大型テック企業の上場が期待されています。

当ファンドでは、こうした大きな市場の

変化に着目し、長期的な成長が期待できる企業への投資を行っています。具体的には、AI向けインフラ投資の恩恵を受ける企業、小売業のデジタル化を支援する企業、宇宙衛星関連サービスを提供する企業に加え、患者の治療負担を軽減する手術支援ロボットや、がん検査機器を開発・提供する企業など、医療分野で革新をもたらす企業にも注目しています。

金融政策や中東情勢の混迷を背景に、景気の先行きには依然として不透明感が残りますが、投資対象となる企業には中長期的な成長の可能性が大きいと考えています。運用にあたっては、成長が期待される企業を中心にポートフォリオを構築し、業績や株価の動きに応じて柔軟に投資判断を行っていく方針です。

2025年8月1日～2026年7月31日

> 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	237	1.671	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(112)	(0.792)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(109)	(0.770)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(16)	(0.110)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	18	0.125	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(18)	(0.125)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	2	0.012	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	257	1.809	

期中の平均基準価額は、14,168円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

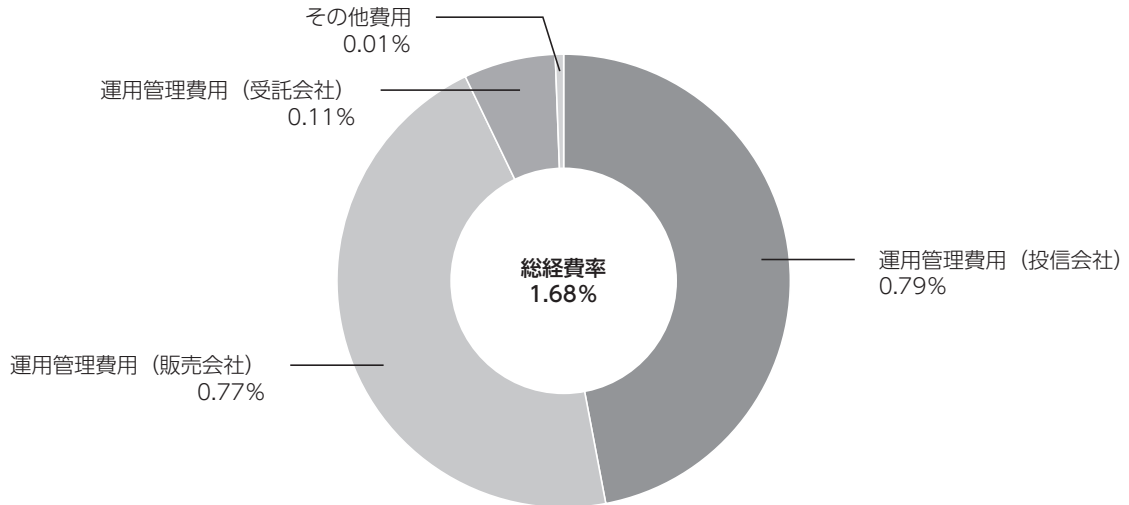
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.68%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年8月1日～2026年7月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
NASDAQマザーファンド	千口 95,759	千円 1,822,000	千口 282,592	千円 5,501,000

○株式売買比率

(2025年8月1日～2026年7月31日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	NASDAQマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	68,669,972千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	63,144,812千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.08

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年8月1日～2026年7月31日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ NASDAQオープン Aコース>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	139,214	118,915	85.4	136,277	119,148	87.4

<NASDAQマザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	597	—	—	14,346	1,013	7.1

平均保有割合 14.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2026年 7 月31日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
NASDAQマザーファンド	千口 566, 149	千口 379, 316	千円 8, 018, 070

○投資信託財産の構成

(2026年 7 月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
NASDAQマザーファンド	千円 8, 018, 070	% 91. 6
コール・ローン等、その他	739, 920	8. 4
投資信託財産総額	8, 757, 990	100. 0

(注) NASDAQマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（63, 977, 112千円）の投資信託財産総額（64, 074, 492千円）に対する比率は99. 8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル＝160. 72円	1 ユーロ＝185. 12円		
-------------------	----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年7月31日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,621,966,949
コール・ローン等	333,732,356
NASDAQマザーファンド(評価額)	8,018,070,598
未収入金	8,270,155,151
未収利息	8,844
(B) 負債	8,263,420,144
未払金	7,864,186,500
未払収益分配金	303,391,895
未払解約金	20,868,637
未払信託報酬	74,820,578
その他未払費用	152,534
(C) 純資産総額(A－B)	8,358,546,805
元本	6,067,837,905
次期繰越損益金	2,290,708,900
(D) 受益権総口数	6,067,837,905口
1万口当たり基準価額(C／D)	13,775円

<注記事項>

- ①期首元本額 7,334,879,533円
 期中追加設定元本額 655,312,681円
 期中一部解約元本額 1,922,354,309円
 また、1口当たり純資産額は、期末13,775円です。

②分配金の計算過程

項 目	2025年8月1日～ 2026年7月31日
費用控除後の配当等収益額	20,230,463円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	512,387,467円
収益調整金額	3,826,394,521円
分配準備積立金額	1,401,490,889円
当ファンドの分配対象収益額	5,760,503,340円
1万口当たり収益分配対象額	9,493円
1万口当たり分配金額	500円
収益分配金金額	303,391,895円

○損益の状況 (2025年8月1日～2026年7月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,260,913
受取利息	1,260,913
(B) 有価証券売買損益	693,082,408
売買益	2,581,563,891
売買損	△1,888,481,483
(C) 信託報酬等	△ 161,725,391
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	532,617,930
(E) 前期繰越損益金	1,401,490,889
(F) 追加信託差損益金	659,991,976
(配当等相当額)	(3,826,140,250)
(売買損益相当額)	(△3,166,148,274)
(G) 計(D＋E＋F)	2,594,100,795
(H) 収益分配金	△ 303,391,895
次期繰越損益金(G＋H)	2,290,708,900
追加信託差損益金	659,991,976
(配当等相当額)	(3,826,394,521)
(売買損益相当額)	(△3,166,402,545)
分配準備積立金	1,630,716,924

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	500円
-----------------	------

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

* 三菱UFJ アセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

NASDAQマザーファンド

《第30期》決算日2026年7月31日

[計算期間：2025年8月1日～2026年7月31日]

「NASDAQマザーファンド」は、7月31日に第30期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第30期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	NASDAQ市場に上場されている株式を投資対象とし、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。組入銘柄につきましては、ボトムアップ・アプローチを基本として、個別銘柄のファンダメンタルを重視した銘柄選定を行います。外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	NASDAQ市場に上場されている株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	(参 考 指 数) N A S D A Q 総 合 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額	
		期 中 騰 落 率 (配当込み、 円換算ベース)	期 中 騰 落 率				
	円	%	%	%	%	百万円	
26期(2022年8月1日)	79,282	△ 0.1	1,694,269.37	2.9	96.1	—	41,288
27期(2023年7月31日)	99,787	25.9	2,089,183.03	23.3	97.9	—	46,124
28期(2024年7月31日)	133,497	33.8	2,720,071.28	30.2	97.9	—	44,252
29期(2025年7月31日)	173,710	30.1	3,300,538.59	21.3	98.9	—	60,233
30期(2026年7月31日)	211,382	21.7	4,239,615.46	28.5	98.1	—	58,994

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NASDAQ総合指数とは、NASDAQ上場全銘柄の時価総額加重平均により算出され、1971年2月5日を基準値100としています。
NASDAQ総合指数(配当込み、円換算ベース)は、NASDAQ総合指数をもとに、配当込み指数が入手可能な2017年12月25日以降、委託会社が計算したものです。なお、設定来から配当込み指数に切り替える前までは、配当除く指数で算出し、連続して指数化しています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	(参 考 指 数) N A S D A Q 総 合 指 数 (配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
				騰 落 率		
(期 首) 2025年 7 月31日	円 173,710	% －	3,300,538.59	% －	% 98.9	% －
8 月 末	175,789	1.2	3,335,976.19	1.1	97.0	－
9 月 末	185,781	6.9	3,519,962.42	6.6	96.1	－
10 月 末	200,874	15.6	3,803,595.03	15.2	97.8	－
11 月 末	199,836	15.0	3,807,831.13	15.4	97.8	－
12 月 末	200,581	15.5	3,850,266.68	16.7	98.1	－
2026年 1 月 末	196,841	13.3	3,813,378.40	15.5	97.7	－
2 月 末	186,947	7.6	3,736,475.73	13.2	97.4	－
3 月 末	171,025	△ 1.5	3,486,813.68	5.6	97.6	－
4 月 末	206,780	19.0	4,150,948.80	25.8	97.8	－
5 月 末	229,672	32.2	4,502,379.43	36.4	97.6	－
6 月 末	224,917	29.5	4,402,167.28	33.4	97.6	－
(期 末) 2026年 7 月31日	211,382	21.7	4,239,615.46	28.5	98.1	－

(注) 騰落率は期首比。
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

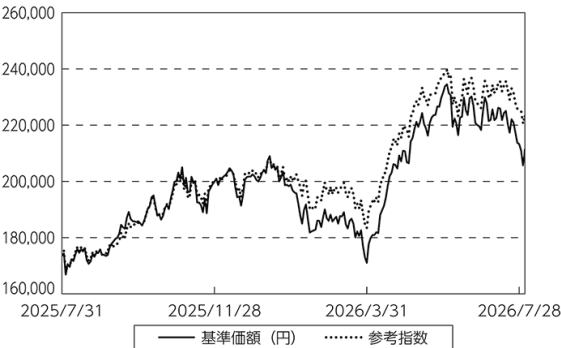
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ21.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

NASDAQ株式市況全体の上昇や組入銘柄(LAM RESEARCH CORPなど)の値上がりなどが、基準価額の上昇要因となりました。また、米ドルが対円で上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎NASDAQ株式市況

NASDAQ株式市況は上昇しました。

期間の初めから2026年2月にかけては、2025年9月後半の米連邦公開市場委員会(FOMC)で利下げが決定されたことを受け、景気が下支えされとの見方が広がったことなどから、株価は上昇しました。

2026年3月以降は、中東情勢を巡る地政学リスクが意識されたことや、人工知能(AI)関連投資の収益性やキャッシュフローに与える影響への懸念などから、株価が一時的に下落する局面も

見られました。しかし、中東情勢を織り込む動きが一服したことや企業業績が比較的良好であったことなどを背景に、株価は持ち直しました。

結果として、期間の初めからの株価は上昇しました。

◎為替市況

円に対して米ドルは上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・NASDAQ上場株式を主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力に着目し、長期的な成長が期待できる企業を選定し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざしました。銘柄選定にあたっては、キャッシュフロー面等からの割安感にも着目しました。
- ・銘柄数は、期間の初め時点においては、46銘柄としていました。
- ・当期間においては、業績を安定的に伸ばせるか徹底的な企業調査を行うと同時に、業績成長確度の高い銘柄への投資配分を引き上げ、期間末時点の組入銘柄は、51銘柄としました。
- ・収益拡大余地が限定的と判断した「ZSCALER INC」や、「TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A」の売却を行う一方で、航空機リース、エンジンリース、およびエンジン修理などを手がける「FTAI AVIATION LTD」や、光学・光通信製品の製造・販売を手がける「LUMENTUM HOLDINGS INC」などのより成長性が高いと判断した銘柄を新規に組み入れました。

○今後の運用方針

アメリカでは、タクシーや商用車向けの完全自動運転技術を活用したサービスや、宇宙衛星関連サービスなど、多くのイノベーションが次々と生まれています。「SPACE EXPLORATION TECHN-CL AJ」が上場しましたが、今後も大型テック企業の上場が期待されています。

当ファンドでは、こうした大きな市場の変化に着目し、長期的な成長が期待できる企業への投資を行っています。具体的には、AI向けインフラ投資の恩恵を受ける企業、小売業のデジタル化を支援する企業、宇宙衛星関連サービスを提供する企業に加え、患者の治療負担を軽減する手術支援ロボットや、がん検査機器を開発・提供する企業など、医療分野で革新をもたらす企業にも注目しています。

金融政策や中東情勢の混迷を背景に、景気の先行きには依然として不透明感が残りますが、投資対象となる企業には中長期的な成長の可能性が大きいと考えています。運用にあたっては、成長が期待される企業を中心にポートフォリオを構築し、業績や株価の動きに応じて柔軟に投資判断を行っていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2025年8月1日～2026年7月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 254 (254)	% 0.128 (0.128)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.001 (0.001)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	8 (8) (0)	0.004 (0.004) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	263	0.133	
期中の平均基準価額は、198,398円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年8月1日～2026年7月31日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 12,597 (507)	千アメリカドル 174,683 (-)	百株 21,404	千アメリカドル 262,039

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2025年8月1日～2026年7月31日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	68,669,972千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	63,144,812千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.08

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年8月1日～2026年7月31日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 597	百万円 —	% —	百万円 14,346	百万円 1,013	% 7.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2026年7月31日現在)

外国株式

銘柄	柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカドル	千円	
ADVANCED MICRO DEVICES		—	155	7,523	1,209,184	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY INC		—	133	11,632	1,869,652	半導体・半導体製造装置
WALMART INC		—	338	3,755	603,532	生活必需品流通・小売り
CADENCE DESIGN SYS INC		373	167	5,558	893,296	ソフトウェア・サービス
CINTAS CORP		351	453	9,367	1,505,558	商業・専門サービス
COSTCO WHOLESALE CORP		32	67	6,392	1,027,473	生活必需品流通・小売り
AXCELIS TECHNOLOGIES INC		545	93	1,164	187,150	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP		707	664	29,953	4,814,052	ソフトウェア・サービス
NETFLIX INC		42	199	1,456	234,021	メディア・娯楽
LAM RESEARCH CORP		547	256	7,621	1,224,948	半導体・半導体製造装置
COPART INC		1,387	—	—	—	商業・専門サービス
INTUITIVE SURGICAL INC		88	106	3,741	601,330	ヘルスケア機器・サービス
AXON ENTERPRISE INC		—	86	4,517	726,065	資本財
SYNOPSYS INC		—	55	2,047	329,124	ソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC		1,525	1,329	31,297	5,030,206	一般消費財・サービス流通・小売り
KLA CORP		68	150	2,704	434,739	半導体・半導体製造装置
NVIDIA CORP		2,062	1,557	30,367	4,880,701	半導体・半導体製造装置
VERTEX PHARMACEUTICALS INC		85	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VEECO INSTRUMENTS INC		—	335	1,620	260,429	半導体・半導体製造装置
APPLE INC		709	584	19,472	3,129,589	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COSTAR GROUP INC		920	—	—	—	不動産管理・開発
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC		—	28	3,685	592,302	半導体・半導体製造装置
AEROVIRONMENT INC		—	205	3,004	482,912	資本財
DEXCOM INC		259	822	6,127	984,761	ヘルスケア機器・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A		279	131	7,061	1,134,891	メディア・娯楽
TESLA INC		409	303	9,358	1,504,042	自動車・自動車部品
ALPHABET INC-CL C		1,370	910	30,364	4,880,243	メディア・娯楽
PALO ALTO NETWORKS INC		464	181	5,894	947,413	ソフトウェア・サービス
SPROUTS FARMERS MARKET INC		217	—	—	—	生活必需品流通・小売り
IDEXX LABORATORIES INC		181	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
IMPINJ INC		—	377	5,560	893,663	半導体・半導体製造装置
LUMENTUM HOLDINGS INC		—	75	5,199	835,631	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ZSCALER INC		250	—	—	—	ソフトウェア・サービス
BROADCOM INC		823	692	26,838	4,313,488	半導体・半導体製造装置
MONGODB INC		—	181	5,898	947,995	ソフトウェア・サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A		19	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A		245	—	—	—	金融サービス
ARGENX SE - ADR		—	49	4,319	694,193	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MODERNA INC		480	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A		258	171	2,090	336,008	ソフトウェア・サービス
AIRBNB INC-CLASS A		121	—	—	—	消費者サービス
SITIME CORP		273	169	8,921	1,433,783	半導体・半導体製造装置
SEAGATE TECHNOLOGY HOLDINGS		—	42	3,577	574,904	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MONDAY.COM LTD		178	—	—	—	ソフトウェア・サービス
APPLOVIN CORP-CLASS A		55	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ROBINHOOD MARKETS INC - A		333	251	2,173	349,350	金融サービス

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカドル	千円	
SOFI TECHNOLOGIES INC		6,197	5,174	8,521	1,369,588	金融サービス
IDEAYA BIOSCIENCES INC		—	495	1,801	289,585	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CONSTELLATION ENERGY		—	163	4,296	690,457	公益事業
DRAFTKINGS INC-CL A		814	—	—	—	消費者サービス
AURORA INNOVATION INC		1,950	2,905	1,812	291,340	ソフトウェア・サービス
PROCEPT BIOROBOTICS CORP		1,040	1,008	1,814	291,610	ヘルスケア機器・サービス
GITLAB INC-CL A		330	—	—	—	ソフトウェア・サービス
MOBILEYE GLOBAL INC-A		2,720	910	718	115,541	自動車・自動車部品
NEXTPOWER INC-CL A		744	—	—	—	資本財
NATERA INC		239	200	5,393	866,795	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FTAI AVIATION LTD		—	289	5,707	917,349	資本財
INSMED INC		—	347	3,521	566,008	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRANSMEDICS GROUP INC		383	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
CREDO TECHNOLOGY GROUP HOLDI		160	103	2,071	332,871	半導体・半導体製造装置
ARM HOLDINGS PLC-ADR		630	136	3,284	527,956	半導体・半導体製造装置
ASTERA LABS INC		627	—	—	—	半導体・半導体製造装置
RIGETTI COMPUTING INC		1,140	352	523	84,068	半導体・半導体製造装置
SANDISK CORP		—	14	1,791	288,001	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ROCKET LAB CORP		—	278	1,798	288,991	資本財
SOLSTICE ADV MATERIALS INC		—	173	992	159,570	素材
TOWER SEMICONDUCTOR LTD		—	65	1,372	220,594	半導体・半導体製造装置
SPACE EXPLORATION TECHN-CL A		—	403	4,521	726,721	電気通信サービス
合 計	株 数 ・ 金 額	32,629	24,329	360,214	57,893,696	
	銘 柄 数 < 比 率 >	46	51	—	< 98.1% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2026年7月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	57,893,696	90.4
コール・ローン等、その他	6,180,796	9.6
投資信託財産総額	64,074,492	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（63,977,112千円）の投資信託財産総額（64,074,492千円）に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=160.72円	1 ユーロ=185.12円		
------------------	---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年7月31日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	69,216,325,940
コール・ローン等	455,380,110
株式(評価額)	57,893,696,137
未収入金	10,865,697,250
未収配当金	1,552,218
未収利息	225
(B) 負債	10,221,833,600
未払金	5,141,833,600
未払解約金	5,080,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	58,994,492,340
元本	2,790,895,065
次期繰越損益金	56,203,597,275
(D) 受益権総口数	2,790,895,065口
1万口当たり基準価額(C/D)	211,382円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,467,469,621円
期中追加設定元本額 193,065,667円
期中一部解約元本額 869,640,223円
また、1口当たり純資産額は、期末21,1382円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

三菱UFJ NASDAQオープン Bコース	2,399,449,843円
三菱UFJ NASDAQオープン Aコース	379,316,621円
外国株式アクティブファンドセレクション（ラップ専用）	12,128,601円
合計	2,790,895,065円

○損益の状況 (2025年8月1日～2026年7月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	196,253,057
受取配当金	145,371,831
受取利息	41,784,243
その他収益金	9,096,983
(B) 有価証券売買損益	12,347,719,238
売買益	21,066,301,398
売買損	△ 8,718,582,160
(C) 保管費用等	△ 2,793,342
(D) 当期損益金(A+B+C)	12,541,178,953
(E) 前期繰越損益金	56,765,893,766
(F) 追加信託差損益金	3,459,884,333
(G) 解約差損益金	△16,563,359,777
(H) 計(D+E+F+G)	56,203,597,275
次期繰越損益金(H)	56,203,597,275

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)